

解説—改元に関する史料を読む（1）—

○古文書を読む

【史料】平川家文書 1596 「年号改元ニ付書状」

平川家文書

平川家は北足立郡小針村（伊奈町）に帰農した家。文政期に喜伝治が組頭、名主を拝命。天保12年(1841)には領主旗本春日氏に召された。幕府役職関係の書状や支配関係の文書が含まれる。

語句解説

啓達	文書で申し入れること
公方	徳川将軍=十二代将軍徳川家慶
右大将	右近衛大将 将軍の世子=十三代将軍徳川家定
珍重	①大切にすること ②祝うべきこと
飛札	飛脚に持たせる急用の手紙
斎順	紀州藩主大納言徳川斉順
水野越前守	老中 水野忠邦
阿部伊勢守	老中 阿部正弘
牧野備前守	老中 牧野忠雅

☆内容を読みとく

①改元の情報伝達 【史料】大納言→老中

②年代の特定 【史料】：斉順、水野、阿部、牧野の在任期間から考える

・徳川斉順：権大納言 文政11年（1828）～弘化3年（1846）

・水野忠邦：老中首座 天保10年（1839）～弘化2年（1845）

→「弘化」改元（天保15年12月2日～） 公方=家慶

⇒改元が決まってから伝達されるまでに23日かかっている